

# 野村サステナビリティ・デー

## 野村アセットマネジメントのサステナビリティへの取組み

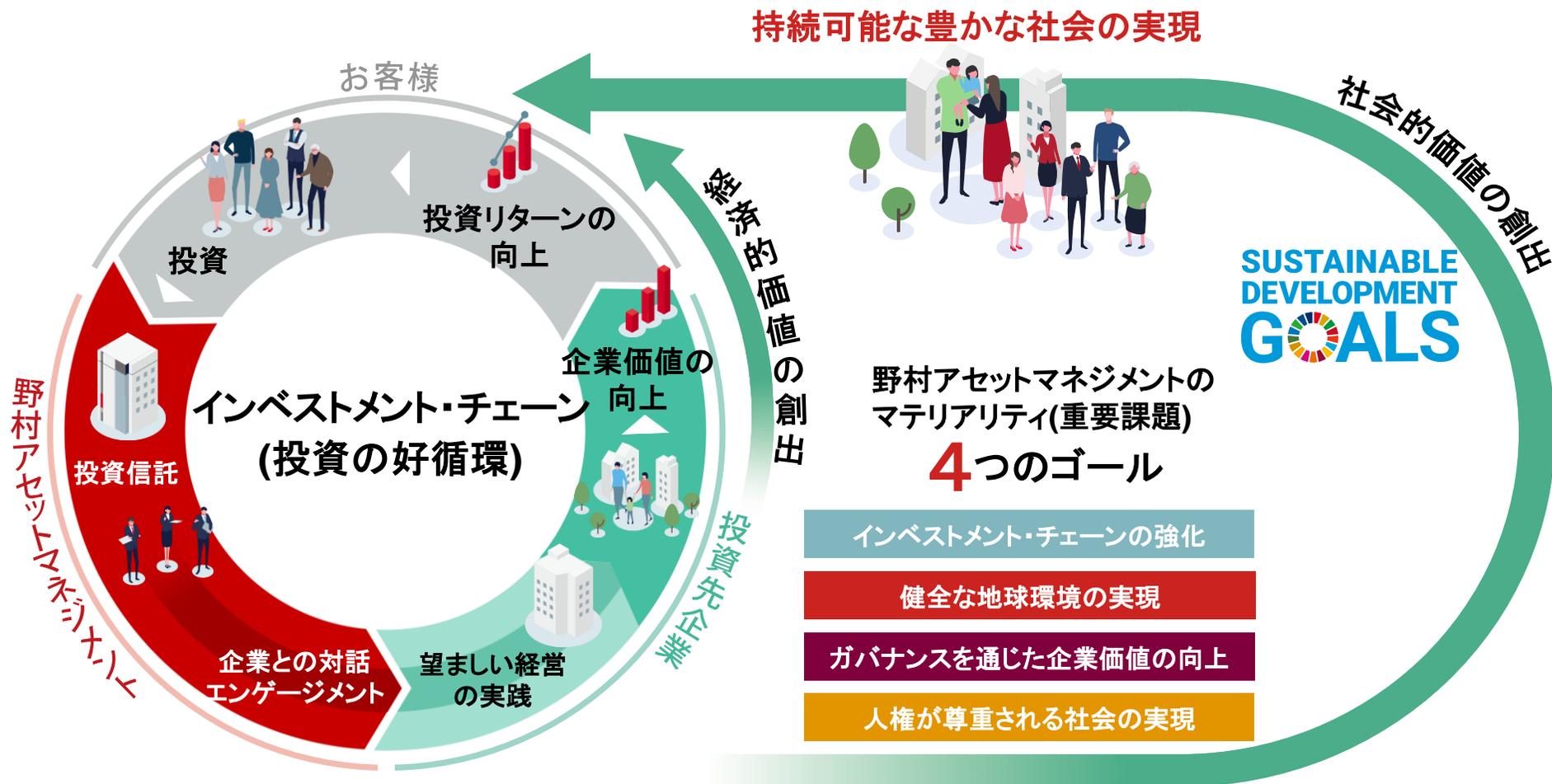
野村アセットマネジメント株式会社  
CEO兼代表取締役社長  
小池 広靖



# インベストメント・チェーンを通じたサステナビリティの実現

- 投資先企業との対話(エンゲージメント)を通じて、企業価値の向上、企業のSDGsへの取り組みを後押し

経済的価値と社会的価値の両立



## マテリアリティ(重要課題)

### ■ インベストメント・チェーンの実現に向けてマテリアリティを特定し、その課題解決に取り組む

#### 4つのゴールとマテリアリティ

#### インベストメント・チェーンの強化

- 資産形成に資するすぐれた商品・サービスの提供
- 責任投資の推進
  - 非財務情報を運用プロセスに組み込むESGインテグレーションの強化
  - ESGの観点や重要テーマを踏まえた積極的なESGエンゲージメントの推進
- デジタイゼーションによる運用力・お客様の利便性向上
- 金融リテラシー教育の推進
  - 資産形成の普及促進に結びつく、充実した教育・研修プログラムの拡充
- 地方創生支援
  - 地域金融機関と連携した企業版ふるさと納税を活用した寄付スキームの創設

#### ガバナンスを通じた企業価値の向上

- コーポレートガバナンス機能の十分な発揮
  - コーポレートガバナンス強化に向けた投資先企業とのエンゲージメント
- 内部統制システムの強化・充実
- 利益相反管理体制の強化・充実
  - 運用、調査における意思決定や人材の独立性の確保

#### 健全な地球環境の実現

- 脱炭素社会の実現
  - 気候変動リスク・機会に対する運用の高度化
  - 投資先企業へのエンゲージメントを通じた気候変動問題への取り組みの経営戦略への反映
- 自然資本の保全
  - 投資先企業へのエンゲージメントを通じた自然資本と事業の共存に向けた取り組みの経営戦略への反映

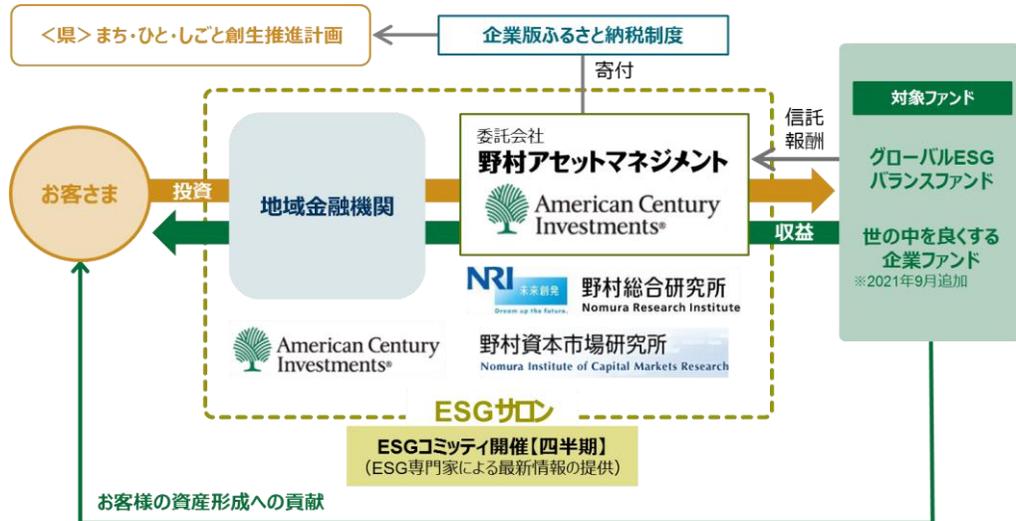
#### 人権が尊重される社会の実現

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
  - 投資先企業とのエンゲージメントを通じたダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 社員が生き生きと働ける環境づくり
  - 働きやすい企業のパフォーマンスに着目した運用戦略の開発・運用
- 健康長寿社会の実現
  - 戦略的パートナーであるACIと協働したファンドの設定・提供を通じた医学研究への貢献

# 地方創生支援「志」プロジェクト

## ■ 投資信託を通じた地方創生支援を行う「志」プロジェクト

### 「志」プロジェクト概念図



### 「グローバルESGバランス」販売会社様



- 2月1日取扱開始  
福岡中央銀行様
- 2月26日取扱開始  
西日本シティ銀行様
- 5月10日取扱開始  
長崎銀行様
- 6月1日取扱開始  
佐賀銀行様

2021年8月時点

# 野村アセットマネジメント 資産運用研究所

## ■ 資産運用を取りまく社会課題の解決を目指して、様々なテーマの情報発信に取り組む「資産運用研究所」を設立

### 資産運用研究所での活動

#### 人生100年プロジェクト

「人生100年時代」における、お金の接し方

退職後の豊かなセカンドライフ、そして100年という長い人生において、個性ある多様な生き方が試される時代です。お客様の未来を思い、人生100年のライフプランを支える資産運用を考え、新たな提案を行ないます。

#### ゴールベース・プロジェクト

資産運用ビジネスの柱となる「ゴールベース」という考え方

お客様の夢や目標など「ゴール」を達成するための手段として資産運用を提案する、ゴールベース・アプローチという考え方があります。この考え方を広めるため、情報提供、普及促進、講師向けのコンテンツ拡充を進めています。

#### つみたてプロジェクト

「つみたて投資」こそ、投資の王道

少額から始められ、投資タイミングにとらわれない「つみたて投資」は、資産形成を始めるための王道の手段であると考えています。つみたてアプリの活用やセミナー等を通じて、つみたて投資の考え方の普及を図っています。

#### 投資教育プロジェクト

全ての人々にお届けする「お金の育て方」

資産形成を正しく理解し、主体的に判断できる力を養うことを目的として、あらゆる世代に向けた、運用会社ならではの情報発信、資産形成についての普及活動を行なっています。

#### ESGプロジェクト

ESG投資は、「テーマ」から「スタンダード」へ

気候変動や所得格差の拡大など、ESGの課題が世界を揺るがす事例が増えています。ESG投資に関する情報発信・セミナー等を通じ、日本に健全なESG投資が根付くよう取り組んでいます。

#### デジタル・プロジェクト

金融市場のデジタル関連調査  
投資家の意識調査等

世界的なデジタル・トランスフォーメーションの流れを背景に、資産運用業界においてもデジタル化が急務となっています。定期的な投資家への意識調査による情報提供や、デジタル証券ビジネス実現に向けた調査研究を行なっています。

#### 資本市場プロジェクト

更なる日本の資本市場  
活性化に向けた調査及び提言

資産運用会社の視点から、資本市場の活性化に向けた調査および提言を行なっています。社会の課題解決に貢献することを旨とし、資産運用業により培われた知見を生かした情報発信を行なっています。



## 資産運用研究所による「オープン研究会」の開催

- 資産運用研究所では、野村資本市場研究所の協賛にて、「野村アセットマネジメントオープン研究会」をオンラインにて開催
- 次代を担うための様々なイニシアティブをとっておられる方々にパネリストとしてご登壇いただき、未来創造にむけた投資家の役割について考察

### 第1回 「未来創造に向けて機関投資家に求められる社会的使命」 (2021年1月26日配信)

(パネリスト)

- ・遠藤 俊英様 (前 金融庁長官)
- ・洪澤 健様 (シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役 コモンズ投信株式会社取締役会長)
- ・能見 公一様 (現株式会社ジェイ・ウィル・コーポレーション顧問 前産業革新機構CEO)



### 第2回 「技術革新による新しいお金の流れと社会課題解決への新たなチャレンジ」 (2021年2月12日配信)

(パネリスト)

- ・瀧 俊雄様 (株式会社マネーフォワード取締役 Fintech研究所長)
- ・宮田 裕章様 (慶應義塾大学 医学部教授)
- ・安田 洋祐様 (大阪大学大学院 経済学研究科准教授)



### 第3回 「今後の運用先企業の評価は如何にあるべきか」 (2021年3月9日配信)

(パネリスト)

- ・小平 龍四郎様 (日本経済新聞社 編集委員)
- ・中神 康議様 (みさき投資株式会社代表取締役社長、独立行政法人経済産業研究所コンサルティングフェロー)
- ・柳 良平様 (エーザイ株式会社専務執行役CFO(最高財務責任者)、早稲田大学大学院会計研究科客員教授)



### 第4回 「ESG投資、インパクト投融資に関連した社会的課題解決への新しい動き」 (2021年3月16日配信)

(パネリスト)

- ・江上 広行様 (株式会社URUU代表取締役 JPBV(価値を大切に金融実践者の会)代表理事)
- ・栗原 康剛様 (Japan Prideイニシアチブ発起人、三菱商事株式会社)
- ・小崎 亜依子様 金融庁総合政策局総合政策課課長補佐(サステナブルファイナンス)



### 第5回 「未来創造に向けて機関投資家に求められる社会的使命と新たなチャレンジ」 (2021年4月6日配信)

(パネリスト)

- ・新井 和宏様 (株式会社eumo代表取締役 ソーシャルベンチャー活動支援者会議(SVC)会長)
- ・岩村 充様 (早稲田大学経営管理研究科教授)
- ・高田 創様 (岡三証券株式会社グローバル・リサーチ・センター理事長)



# 気候変動に関するイニシアティブへの加盟

- 野村アセットマネジメントは、PCAF、CA100+、CDP、TCFDなど、主要な気候変動関連のイニシアティブに参画
- 「責任投資レポート」で当社の全社ポートフォリオ(株式、社債)について詳細なTCFD開示を実施

気候変動関連イニシアティブの関係(年月は当社の署名時期。Nは野村グループとして署名)



## 野村アセットマネジメントの気候変動関連開示に対する評価



温室効果ガス排出量スコープ3のうちのカテゴリー15「投資」については、野村アセットマネジメントにおいて既に計測・開示を行っている



TCFDコンソーシアム「TCFDガイダンス2.0 事例集」がアセットマネージャーの優良開示事例として当社のTCFD開示を掲載

# 脱炭素社会実現に向けた投資信託を通じた取り組み

- 脱炭素社会の実現に貢献する企業へ投資する投資信託、「脱炭素ジャパン」
- 社会的課題の解決に貢献しながら成長を遂げる企業に投資

## 「脱炭素ジャパン」の特徴

- ① 日本株厳選投資
  - 脱炭素社会の実現に貢献する企業を発掘し投資
- ② 「脱炭素社会の実現に貢献する企業」に投資
  - 脱炭素関連のビジネスを展開する企業
  - 脱炭素のための取り組みを行う企業
- ③ 企業の脱炭素への貢献度合いを定量化
  - 「脱炭素ジャパン」が投資する企業の温室効果ガス排出量等を計測
  - 脱炭素化の進展の乏しい企業に、積極的なエンゲージメントを実施

## 温室効果ガス排出の計測・定量化

### 分析

#### カーボンプライシング(炭素価格)を活用したリスク分析

- 炭素価格を企業分析に反映
- 排出量の多寡のみならず、  
炭素価格を考慮した分析



### 対話

#### 気候変動に関する企業との対話

- 気候変動に関する先進的な分析に基づき、  
企業との対話(エンゲージメント)を実施し、  
脱炭素社会への取組みを促進



### 課題 解決

#### 企業価値の向上と脱炭素化の実現

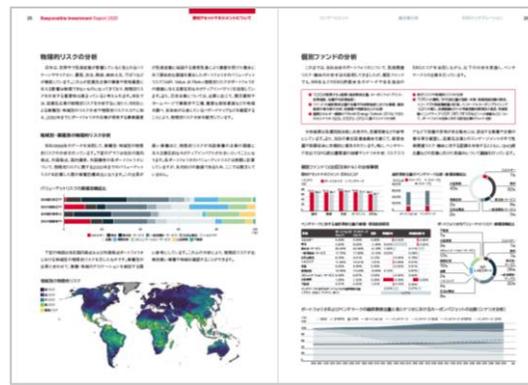
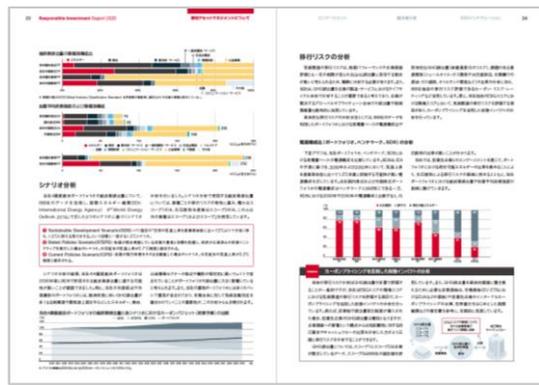
- 長期にわたって企業との対話を継続
- 企業の脱炭素化の取組みを後押し

企業価値向上によるリターンの提供と持続可能な社会を実現

# 責任投資レポート

■ 野村アセットマネジメントでは毎年、当社のスチュワードシップ・レポートである「責任投資レポート」を公表

責任投資レポート2020



## 野村アセットマネジメント 責任投資レポート

日本語：<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/library/ri-report.html>  
 英語：<https://global.nomura-am.co.jp/responsibility-investment/>

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村アセット・マネジメント株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれます。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。